

10月25日（火）の初登庁で。「初心を忘れず、全力で新市の基礎づくりに取り組みます」



登庁と同時に市章を着用

協働の素地を早く、少しでも強く

「行政と住民の協働」については、どのようにお考えですか。

まずは市民の皆さんと職員がこれまで以上に触れ合うこと、機会を捉えて、地元だけでなく他の地域の催しにも参加してみるなどが必要だと思えます。そういうことによって、市の一体感という大きなつながりができ、市民の他に心のつながりが増えていくのではないかと思います。そして、やがては、それが元になって、市民の一体感、そして行政と住民の協働という素地ができてくると思えます。

これはわれわれが行政の都合で、上から市民の皆さんに押し付けるものではありません。協働というのは、お互いの気持ちになって、その立場、立場で助け合うということ、そして、住民と行政が連携しながら「まちづくり」への参加・参画する意識を育んでいくことが必要かどうか、と思う思います。

そういった素地が早くでき、少しでも強くなるように努力したいと思えます。

「最後に市民の皆さんへのメッセージをお聞かせください。」

新しいまちづくりを進める上で、住民参画・協働は大きな鍵となります。地域の中で一定の自治能力を高めていただく、そのことは市全体の自治能力向上にもすぐにかかわってくる話だと思えます。

住民参画の第一歩は、お隣、ご近所から始まると常々思っています。人間いろんな人と関係し合って生きているわけですから、そこから自治というものが生まれてくるのだと思えます。

まずは地域に参加していただく、そういうご負担をお願いしたいと思えます。その中で、苦労しながらでも、一つの結果を出したということが、今後、大きな価値を生んでくるのだと思えます。

相互信頼と融和を基調とし、安曇野という素晴らしい地域に大きな自信をもって新市の基礎づくりに臨みたいと思えます。どうか皆さんの一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

政策形成能力、自治体法務能力を深めていきます

「これからの地方自治体には何が求められると思えますか。」

自治体間競争が盛んになり、各部門の職員がそれぞれ資質を自ら上げる、上げていくという気持ちがないといけません。これからの自治体は、自らが自らの責任において考え、実行していかなければいけないわけですので、職員の政策形成能力、自治体法務能力といったものを深めていくことが必要になってくると思えます。さらには、市民の皆さまに、いかに説明し、ご理解いただき、説得できるかできないか、その説得力が大きくなるもの、それを言うのではないかと思います。

失敗を恐れずに取り組んでほしい

「新市のトップとして、職員には何を望みますか。」

行政の職員というものは前例踏襲ということが一番無難だと言われますが、これからはそれでは、なかなかうまくいかないと思えます。どんどんと新しいものを取り入れていくという気持ちが必要でしょう。前例のないことをやってみることは、大変価値があると、ある政治家が言っております。「これだ」と思ってからやってみただけで、うまくいかなかった。それはそれで良いと思えます。職員には失敗を恐れずに、業務に取り組んでほしいと思えます。

「協働」は行政の都合で押し付けるものではありません



全国に誇れる市を目指します